

山田大使の旧セミパラチンスク核実験場訪問

5月17～19日、山田大使はクルチャートフ(旧閉鎖都市「セミパラチンスク-21」)の国立核センター設立30周年記念セミナーに招待され、1949年8月29日の旧ソ連による初の核実験の爆心地をはじめ、実験場跡を視察しました。



セメイ～パヴロダール間を結ぶ鉄道



クルチャートフに至る沿道の風景



クルチャートフ市の入口ゲート



核実験場歴史博物館のジオラマ



市街からも見えた最初の水爆実験(1955)



坑道式核爆発による実験前後の図解



セミパラチンスク核実験場の全体図



当時の核爆発点火装置(実物)



初期の実験要員用防護服



実験動物の臓器標本



国立核センター本部



パトルベコフ初代所長(現所長の父)のプレート



核実験の影響による犠牲者への鎮魂碑



ベリヤが寝泊りした建物(現在は露正教会)



30周年記念セミナーにおける本使挨拶



カスパムプロムと核センターの新規契約調印



核実験場に至る道路(立入制限区域内)



実験データを送信したケーブルの残骸



爆心地を円形に囲む観測タワー跡の一つ



カザフ人画家が廃墟に描いたムンクの「叫び」



爆心地に立つカザフスタン・米国旗



米による除染支援(2013-2020)完了記念碑



核爆発の熱で融解した岩石



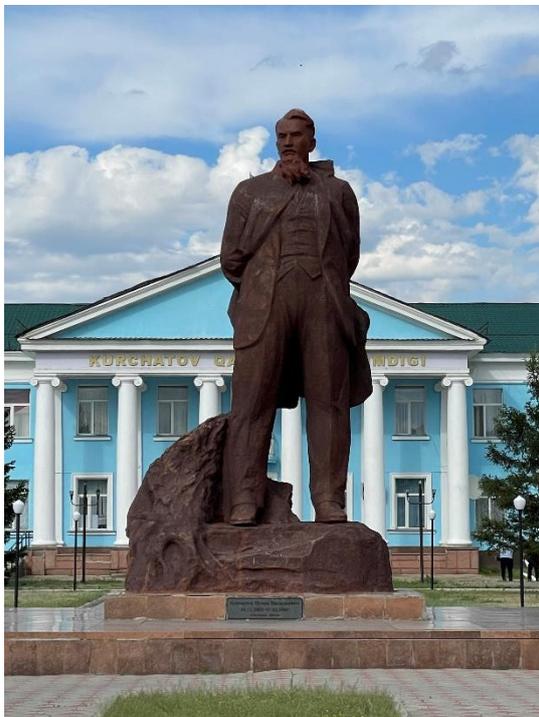
現在も微量の放射能が残り持ち帰りは厳禁



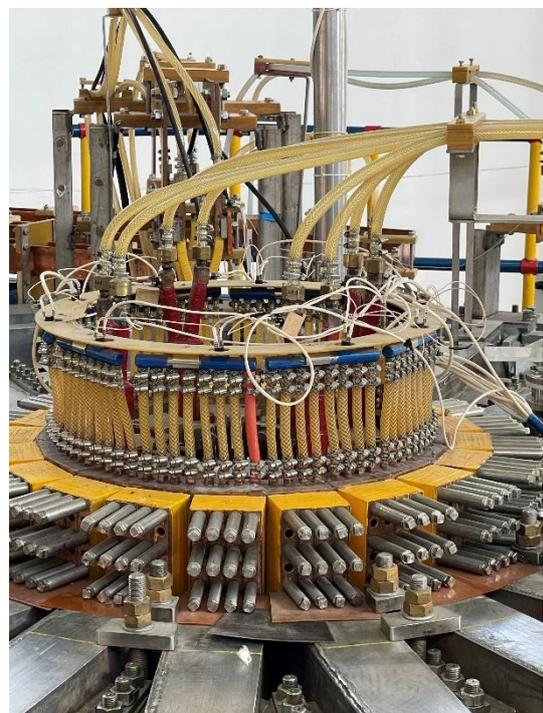
破壊実験用に再現されたモスクワの地下鉄駅



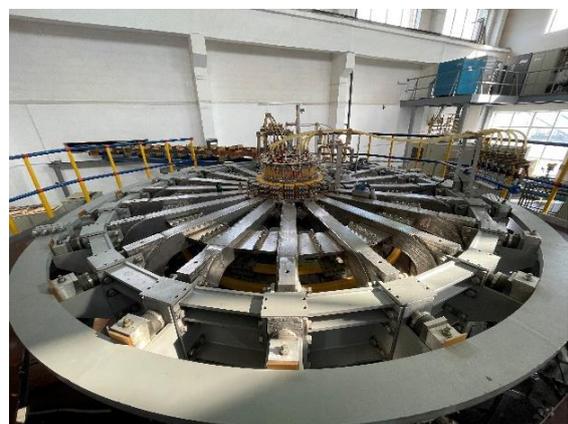
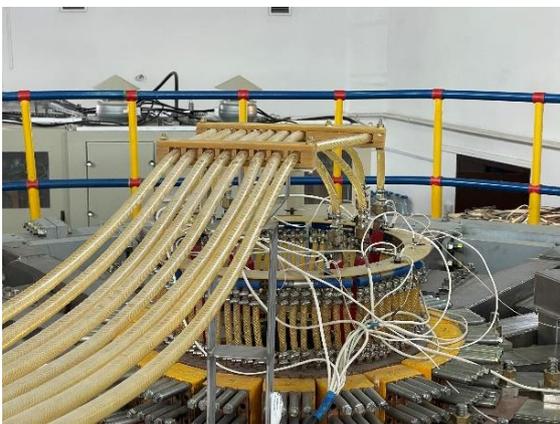
TNT爆発による人造湖(放射能なし)



旧司令部(現市庁舎)前のクルチャートフ像



トカマク型核融合実験炉





トカマク炉の建屋構内



実験炉が発電した電力の市内送電用施設



カザフ伝統音楽の演奏



イルティシュ川の眺望